

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 5月 11日

事業所名 放課後等デイサービスウィズ守口滝井

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員10人に対し、指導訓練室は55㎡の広さです。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数を満たしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		車椅子の方にも対応できるよう配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		学習スペースには各自の机を配しており、心地よく過ごせる環境となっています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、ミーティングを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、施設の改善につなげています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社HPで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今後検討したいと思えます。	第三者による外部評価実施の検討。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月の職員会議時に研修を実施する他、2か月に一度本部研修に参加しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間毎にアセスメントを取った上で児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一したアセスメントシートを使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントをベースに、設定した児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		作成した支援計画に沿った支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々のミーティングで行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者毎の特性や保護者の要望に合わせ、効果的で楽しい療育に努めています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントをベースに、長期目標と短期目標を設定した児童発達支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員間での情報共有を図るための打ち合わせを日々実施しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間での情報共有を図るための打ち合わせを日々実施しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回個人ケア記録をとり、利用日に前回分を見直しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング会議を毎月行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	現状は参加できていません。	今後積極的に参加していきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	該当ありません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—	該当ありません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		十分とは言えませんが、情報共有と連携には、可能な限り努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		十分とは言えませんが、情報共有と連携には、可能な限り努めています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		十分とは言えませんが、可能な限り連携し、助言や研修を受けるよう努めています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	日々の活動で利用者全員に画一的な機会提供は難しいため、地域のイベントなどへの参加にとどまっています。	交流や活動方法等、実施を含めた検討。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	現状は参加できていません。	今後積極的に参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳への記録の他、送迎時にお話するよう心掛けています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	事業所としての支援は実施できていないが、臨床心理士の相談窓口を設けています。	保護者に対する支援の検討。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要事項説明書を掲示しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画の内容説明を丁寧に言い、保護者から同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からの相談に対しては、適切に対応し、可能な限り支援させて頂いています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		夏祭りの際に保護者懇談会を実施し、保護者同士の連携を支援しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速な対応を心掛けています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、活動内容と予定を掲載したレターを作成し、保護者様に発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		同意書を取り交わすなど十分注意しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思疎通、情報伝達のため、絵カードなどを活用しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		夏祭りを実施し、地域住民と交流する場を設けています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	職員には十分周知しているが、保護者への周知は不十分なので、今後検討したいと思います。	保護者への周知方法の検討。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震や火災を想定した避難訓練を定期的実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		全ての利用者様について、契約時に持病や健康状態、服薬などの状態を確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		全ての利用者様について、アレルギーの有無を確認し、留意しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが起きた際には報告書を作成・保管し職員間で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止に関する職員研修実施の他、広報を事業所に掲示しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		そのような措置が必要と思われる利用者には、契約の際に保護者様に丁寧に説明し、児童発達支援計画の特記事項に記載することとしています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。